

直近の感染状況について

(本学、東京都、全国の新型コロナウイルス検査陽性者数の経緯)

本学、東京都、全国の新型コロナウイルス検査陽性者数の推移(下図)で分かるとおり、社会における流行の第3波や第4波に対応して、本学でも陽性者報告数が増えており、7月にはいつてから再度増加の傾向(第5波の兆候)がみられています。これらの流行の波は、武漢株よりも感染性が高いアルファ株(旧称イギリス株)や、それよりもさらに感染性が高いデルタ株(旧称インド株)の増加が一因と考えられます。

本学においては、学内での感染対策がこれまで有効に働いていて、学内関係者同士の感染拡大によるクラスターの発生は起こっていませんが、学生・教職員各位におかれましては、こうした状況変化も踏まえながら、改めてそれぞれが学内外で行う防疫対策の徹底にご留意いただようお願いします。

なお、ワクチン接種を2回受けることは、これら感染性の高い変異株に対しても有効であると報告されています。各自治体による接種、大規模接種、職域接種など様々なワクチン接種の機会も提供されていますので、厚生労働省や各自治体HP等の情報も参考としながら、各位のワクチン接種についてご検討ください。

新型コロナワクチンは、副反応のリスクよりも接種の効果の方が上回ることが報告されています。
ワクチンの有効性：感染するリスクを91%減らす。もし感染しても、症状が軽く短期間になり、ウイルス排出量が減り陽性期間が短くなる。(2021年6月7日 CDC プレスリリース)
ワクチンの副反応：接種部位の発赤・腫脹：通常3-4日で消失、発熱・倦怠感・頭痛：通常48時間以内に自然軽快、アナフィラキシー：10万回に1件程度(2021年7月7日 厚生労働省調査報告、2021年2月15日・6月23日 厚生科学審議会資料)



